

智頭急行株式会社の業務及び財務に関する資料について

鳥取県情報公開条例第38条第2項の規定により、次の資料を閲覧に供します。

〒689-1402

鳥取県八頭郡智頭町智頭2052-1

智頭急行株式会社

代表取締役社長 西尾 浩一

0 8 5 8 - 7 5 - 6 6 0 0

閲覧資料

- 定 款（2025年6月9日現在）…………… 1 P ～ 4 P
- 役 員 名 簿（2025年6月9日現在）…………… 5 P
- 事 業 報 告（2024年度分）…………… 6 P ～ 1 3 P
- 貸借対照表（2024年度分）…………… 1 4 P
- 損益計算書（2024年度分）…………… 1 5 P
- 株主資本等変動計算書（2024年度分）……… 1 6 P

○定 款

第 1 章 総 則

(商号)

第 1 条 当社は、智頭急行株式会社と称する。

(目的)

第 2 条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。

(1) 地方鉄道業

(2) 不動産賃貸業、不動産売買業及び不動産管理業

(3) 旅行業

(4) 広告業

(5) 食堂、喫茶店の経営並びに飲食料品及び日用雑貨品の販売

(6) 収入印紙及び郵便切手の売りさばき

(7) 酒類及びたばこの販売

(8) 前各号に付帯関連する一切の事業

(本店)

第 3 条 当社は、本店を鳥取県八頭郡智頭町に置く。

(公告)

第 4 条 当社の公告は、電子公告とする。

<http://www.chizukyu.co.jp>

ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、官報に掲載する。

第 2 章 株 式

(発行する株式の総数)

第 5 条 当社の発行する株式の総数は、20,000株とする。

(額面株式 1 株の金額)

第 6 条 当社の発行する額面株式の 1 株の金額は、50,000円とする。

(株券の種類)

第 7 条 当社の発行する株式は、すべて記名式とし、株式の種類は、1 株券、10株券及び100株券の 3 種類とする。

(株式の譲渡制限)

第 8 条 当社の株式を譲渡する場合は、取締役会の承認を受けなければならない。

(株主の住所、氏名及び印鑑の届出)

第9条 当会社の株主、株式の登録質権者及び信託財産の受託者又はその法定代理人若しくは代表者は、当会社所定の書式により、住所、氏名及び印鑑を当会社に届け出なければならない。これを変更したときもまた同様とする。

2 前項の届出を怠ったため生じた損害については、当会社はその責めに任じない。

(株式の取扱)

第10条 当会社の株式の名義書換、質権の登録、信託財産の表示、株券の再発行、その他株式の取扱いに関する手続き及びその手数料については、取締役会が定める。

(株主名簿の閉鎖及び基準日)

第11条 当会社は、毎決算期の翌日からその決算期に関する定時株主総会終結の日まで株主名簿の記載の変更を停止する。

2 前項に定めるもののほか必要あるときは、あらかじめ公告して、臨時に株主名簿の記載の変更を停止し、又は基準日を定めることができる。

第3章 株主総会

(株主総会の招集)

第12条 当会社の定時株主総会は、決算期から3箇月以内に招集し、臨時株主総会はその必要がある場合に随時招集する。

(招集者及び議長)

第13条 株主総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役会の決議に基づき取締役社長がこれを招集し、かつ、議長となる。ただし、取締役社長に事故ある時は、あらかじめ取締役会の決議をもって定めた順序に従い、他の取締役がこれにあたる。

(招集地)

第14条 株主総会は、本店所在地又は鳥取県、岡山県若しくは兵庫県地内において開催する。

(決議方法)

第15条 株主総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、出席した株主の議決権の過半数をもってこれを決する。

(議決権の代理行使)

第16条 株主が代理人により議決権を行使しようとするときは、その代理人は代理権を証する書面を当会社に提出しなければならない。

(議事録)

第17条 株主総会の議事については、議事録を作成し、これに議事の経過の要領及びその結果を記載し、議長並びに出席した取締役が記名押印し、会社に保存する。

第4章 取締役、監査役及び取締役会

(役員)

第18条 当社の取締役は20名以内、監査役は3名以内とする。

- 2 取締役及び監査役が任期中に退任しても、その法定員数を欠かないときは、補欠選任を行わないことができる。

(役員を選任)

第19条 取締役及び監査役は、株主総会において選任する。

- 2 取締役及び監査役の選任は、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数で行う。
- 3 取締役の選任については、累積投票によらないものとする。

(任期)

第20条 取締役の任期は、就任後2年以内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとし、監査役の任期は、就任後4年以内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとする。

- 2 補欠又は増員によって就任した取締役の任期は、他の取締役の残任期間とする。
- 3 補欠によって就任した監査役の任期は、前任者の残任期間とする。

(顧問)

第21条 取締役会の決議により、顧問を置くことができる。

(代表取締役及び役付取締役)

第22条 当社に取締役会長1名、取締役副会長2名、取締役社長1名、必要に応じて専務取締役及び常務取締役若干名を取締役会の決議により選任することができる。

- 2 当社の業務は取締役社長が統括し、専務取締役及び常務取締役は取締役社長を補佐し、定められた事務を分掌する。

取締役社長に事故あるときは、取締役会の決議をもってあらかじめ定めた順序により他の取締役が取締役社長の職務を代行する。

- 3 当社を代表すべき取締役は、取締役会の決議により選任する。数人を選出した場合においては、各自当社を代表する。

(取締役)

第23条 取締役は、取締役会を組織し、会社の業務執行を決定する。

- 2 取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役社長がこれを招集し、かつ、議長となる。ただし、取締役社長に事故あるときは、あらかじめ取締役会の決議をもって定めた順序に従い、他の取締役がこれにあたる。
- 3 取締役会の招集通知は、会日より3日前までに発するものとする。ただし緊急の必要がある場合には、その期間を短縮することができる。

(取締役会の決議方法等)

第24条 取締役会の決議は、取締役の過半数が出席し、その過半数をもって決する。

- 2 取締役会の議事については、議事録を作成し、これに議事の経過の要領及びその結果を記載し、出席した取締役及び監査役が記名押印し、会社に保管する。

(役員報酬)

第25条 取締役及び監査役の報酬総額は、株主総会において各別に決定し、その配分は、取締役の報酬については取締役会において決定し、監査役の報酬については監査役の協議によって決定する。

第5章 計 算

(営業年度及び決算期)

第26条 当会社の営業年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとし、毎営業年度末日を決算期とする。

(利益配当金)

第27条 利益配当金は、毎営業年度末日の株主名簿記載の株主又は登録質権者にこれを支払う。

- 2 利益配当金は、その支払提供の日から3年を経過しても受領されないときは、当会社は支払の義務を免れるものとする。

○役員名簿

(2 0 2 5 年 6 月 9 日現在)

取締役会長	平井 伸治	取締役	萩原 誠司
取締役副会長	服部 洋平		庵逵 典章
	上坊 勝則		梅田 修作
代表取締役社長	西尾 浩一		吉岡 佐和子
代表取締役常務	稲田 雅也		井上 裕章
取締役	深澤 義彦	監査役	丸山 明則
	吉田 英人		
	金児 英夫		広田 一恭
	青木 秀樹		三宅 智章

○第39期（2024年度）事業報告

I. 営業の概況

【業務執行状況】

輸送の安全確保を最優先に全社員が一丸となって取組み、無事故で終了いたしました。

1 輸送人員

(1) 特急列車 731,624人

特急列車の輸送人員は、731,624人(前期比100.5%)と前期を3,604人上回りました。

列車別では、スーパーはくと号は545,977人(前期比102.5%)と前期を13,404人上回り、スーパーいなば号は185,647人(前期比95.0%)と前期を9,800人下回りました。年間を通じてスーパーはくと号は前期並みで推移しましたが、スーパーいなば号は前期を下回る傾向が続きました。当初見込みの764,246人と比較すると約4%下回りました。

(2) 普通列車 201,547人

普通列車の輸送人員は、201,547人(前期比103.9%)と前期を7,497人上回りました。

《輸送人員》

(単位：人、%)

区 分		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第39期累計
スーパー はくと	人 員	118,615	135,134	148,254	143,974	545,977
	乗車率	32.2	36.4	39.9	40.0	37.1
	前期比	101.1	101.0	104.4	103.2	102.5
スーパー いなば	人 員	41,481	46,019	51,288	46,859	185,647
	乗車率	33.9	37.7	41.5	39.0	38.0
	前期比	93.7	91.6	97.1	97.5	95.0
特急列車 合 計	人 員	160,096	181,153	199,542	190,833	731,624
	乗車率	32.6	36.7	40.3	39.7	37.3
	前期比	99.1	98.4	102.4	101.7	100.5
普通列車	人 員	51,789	50,946	52,198	46,614	201,547
	前期比	98.4	99.1	106.2	114.0	103.9

2 収支状況

(1) 営業収益 2,744,869,127 円

営業収益は、2,745 百万円(前期比 111.1%)と前期より 274 百万円の増となりました。

ア. 旅客運輸収入 1,359,133,667 円

旅客運輸収入は、1,359 百万円(前期比 117.5%)と輸送人員は前期並みの推移となりましたが、特急料金改定等の影響により、203 百万円の増となりました。

イ. 運輸雑収 1,385,735,460 円

運輸雑収は、1,386 百万円(前期比 105.4%)と平日運休していたスーパーはくと 1 往復が運行されたこと等により受取車両使用料が増加し、前期より 71 百万円の増となりました。

(2) 営業費用 2,498,684,713 円

営業費用は、2,499 百万円(前期比 104.6%)と前期と比較して、給与表改定及び新規社員採用に伴う人件費の増加に加え、軽油単価の高騰に伴う動力費の増加等により、110 百万円の増となりました。

(3) 営業利益 246,184,414 円、経常利益 255,099,565 円

営業利益は、246 百万円と前期より 164 百万円の増益となり、経常利益は、255 百万円と前期より 170 百万円の増益となりました。

前期に引き続き、2 年連続の黒字となりました。

なお、国及び自治体からの補助金等を計上する特別損益を加味した税引前当期純利益は 308 百万円となりました。

(4) 収支状況

(単位：円、%)

区 分		第39期(2024年度)	第38期(2023年度)	前年度比	前年度差額
収入	営業収益	2,744,869,127	2,470,842,733	111.1	274,026,394
	旅客運輸収入	1,359,133,667	1,156,428,066	117.5	202,705,601
	運輸雑収	1,385,735,460	1,314,414,667	105.4	71,320,793
費用	営業費用	2,498,684,713	2,389,077,331	104.6	110,073,682
	人件費	567,023,798	514,174,316	110.3	52,849,482
	修繕費	815,473,405	789,020,217	103.4	26,453,188
	動力費	353,968,817	331,218,064	106.9	22,750,753
	経 費	426,229,528	423,652,662	100.6	2,576,866
	諸 税	55,496,033	55,696,687	99.6	△200,654
	減価償却費	280,493,132	275,315,385	101.9	5,177,747
営 業 損 益		246,184,414	81,765,402	301.1	164,419,012
営業外収益		21,272,069	6,710,890	317.0	14,561,179
営業外費用		12,356,918	3,871,732	319.2	8,485,186
経 常 損 益		255,099,565	84,604,560	301.5	170,495,005
特 別 利 益		127,054,069	172,238,473	73.8	△45,184,404
特 別 損 失		74,349,353	64,667,008	115.0	9,682,345
税引前当期純損益		307,804,281	192,176,025	160.2	115,628,256
法 人 税 等		44,223,800	29,156,700	151.7	15,067,100
当期純損益		263,580,481	163,019,325	161.7	100,561,056

3 運転計画等

2025年3月のダイヤ改正を3月15日に実施し、スーパーはくとの毎日8往復運転及び普通列車のJR山陽線・因美線との接続時間を見直す輸送改善を実施しました。

4 輸送の安全確保のための取組み

(1) 乗務員の資質管理

列車の運転を行う乗務員に対しては、必要な知識および技能を保有するための教育・訓練を実施しました。

- ① 教育及び訓練については、年間6回(12時間)を計画的に実施しました。
- ② 適性の確認については、今年度33名中15名の適性検査を実施し、検査の結果が運転を行うのに支障がないことを確認しました。
- ③ 知識及び技能の確認については、指導職が添乗等を行うことにより確認

しました。

(2) 緊急事態に備えた訓練

万が一、不測の事態が発生した時に、冷静かつ迅速・的確に対応できるよう、日ごろからさまざまな訓練を実施しました。

- ① 毎年鉄道事故が発生した際の併発事故防止、お客様の避難誘導、復旧作業等を迅速確実にを行うために「総合事故対応訓練」を実施しました。
- ② 直通運転を行う JR 西日本と異常時の対応手順の確認を目的に智頭駅・岩木信号場の信号機故障等を想定した「異常時合同訓練」を実施しました。

(3) 警察・消防等との連携

異常時等の際に、警察・消防と連携したお客様の避難誘導等を行うために訓練を実施しました。

- ① 列車がトンネル内で車両火災が発生した場合の対応手順を確認するため「トンネル内列車火災避難誘導訓練」を実施しました。
- ② 鉄道テロを想定し警察・消防との連携を意識した「テロ対策合同訓練」を実施しました。

(4) 設備の安全対策

〔主な修繕の状況〕

(単位：千円)

	主な工事	金額	補助事業
線路	尾見・馬々瀬高架橋修繕他	40,500	補
	平福・恋山形駅間ロングレール交換	12,150	補
	上郡・智頭間レール細密検査	10,710	
	智頭トンネル路盤修繕	22,614	
	小計	85,974	
車両	HOT7000 冷房装置整備工事	23,730	
	HOT3500 系重要部検査工事	24,365	
	小計	48,095	
合計		134,069	

〔主な設備投資の状況〕

(単位：千円)

	主な工事	金額	補助事業
電気	平福・大原間 ATS-P 装置更新(注 1)	59,600	補
	河野原円心・久崎間軌道回路装置更新 (設備設置工事)	20,000	補
	気象観測設備改良 (システム改良等)	18,200	補
	旅客案内放送装置改良	83,000	補
	志戸坂 T 高圧受電設備更新他	13,000	
	小計	193,800	
車両	HOT7000 系エンジン(6 台)	31,740	
	HOT3500 系変速機 (注 2) (3 台)	20,940	
	小計	52,680	
合計		246,480	

※主な修繕及び主な設備投資については、10,000 千円以上の工事を記載しています。

注 1：ATS-P(自動列車停止装置 P 形)は、列車の速度を連続的にチェックし、停止(赤)信号や制限速度を超えて異常な運転をされることの無いよう自動でブレーキをかけて停止、減速させる装置

注 2：オートマチックトランスミッション

5 主な企画きっぷの発売状況等

JR 西日本と連携の企画きっぷの「東京往復割引きっぷ」の発売状況は、前年同期を上回り、第 39 期累計においては 12.3% の増となりました。

智頭急行独自の企画きっぷにつきましては、普通列車で通年ご利用頂ける「智頭線普通列車 1 日乗車券」が、前期と同じ発売枚数で推移しました。その他の「優ユウきっぷ」、「特殊回数乗車券」は、いずれも前期を上回りましたが、「楽ラクきっぷ」は前期を下回りました。

(1) JR 西日本と連携

従来の特別企画きっぷ（カッコ内は第 38 期(2023 年度)比）

企画きっぷ	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第39期累計	前期からの増減
東京往復 割引きっぷ	467 枚 (129.0%)	447 枚 (114.0%)	534 枚 (111.0%)	464 枚 (99.4%)	1,912 枚 (112.3%)	210 枚

(2) 智頭急行独自

普通列車関係（カッコ内は第 38 期(2023 年度)比）

企画きっぷ	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第39期累計	前期からの増減
智頭線普通列車 1 日乗車券(5 月から発売) 大人 2,000 円 小児 1,000 円	269 枚 (165.0%)	397 枚 (81.7%)	368 枚 (146.6%)	173 枚 (56.4%)	1,207 枚 (100%)	—
特殊回数乗車券 3,000 円 (100 円券/33 枚綴り)	23 冊 (135.3%)	14 冊 (60.9%)	24 冊 (100.0%)	33 冊 (235.7%)	94 冊 (120.5%)	16 冊
楽ラクきっぷ (70 歳以上の方) 2,500 円 (100 円券/33 枚綴り)	22 冊 (59.5%)	20 冊 (87.0%)	17 冊 (68.0%)	17 冊 (89.5%)	76 冊 (73.1%)	△28 冊
優ユウきっぷ (運転免許返納者) 1,500 円 (100 円券/33 枚綴り)	29 冊 (111.5%)	30 冊 (130.4%)	30 冊 (115.4%)	17 冊 (65.4%)	106 冊 (105.0%)	5 冊

6 第 39 期の鉄道運転事故等について

(1) 鉄道運転事故の発生状況

発生はありませんでした。

(2) インシデントの発生状況

発生はありませんでした。

(3) 輸送障害の発生状況（運休または 30 分以上の遅延）

- ・ 部外原因によるものが、5 月 1 件、6 月 1 件、7 月 2 件、8 月 1 件、9 月 2 件、10 月 2 件、11 月 1 件、12 月 2 件、1 月 1 件、2 月 2 件、3 月 1 件
(JR 線内の列車遅延の影響、雨運転規制の影響)
- ・ 部内原因によるものが、11 月 1 件、12 月 1 件（車両の不具合）

(4) その他

発生事象 普通列車のデッドマンブレーキ装置が機能しない状態で走行した事象

発生日時 2024 年 8 月 23 日（金）午前 11 時 45 分頃

発生場所 大原駅～上郡駅間

概 況 当該運転士が走行中に変速装置が切り替わらないことに気付き、上郡駅到着後に機器点検をしたところ、「速度検出」のブレーカーが通常扱う位置ではなく「切」となっていたため、ブレーカーを「入」として、正常に扱う位置としました。このブレーカーは、車軸の回転から車両の回転速度を判定する機器のことで、正常位置に扱われていないと運転士が気を失うなどしたときに自動的に列車を停止させる装置(デッドマン装置)が動作しない状態となります。

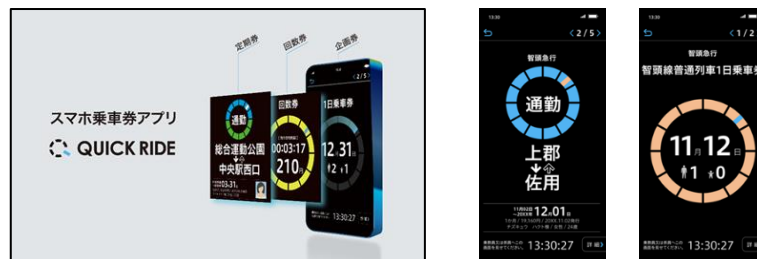
対 応 原因が前日の検査終了時に速度検出のブレーカー入れ忘れ及び出区点検時での速度検出ブレーカーの確認漏れであったため、事象発生の翌日運用する車両からブレーカー及びスイッチ類に正常位置が分かるように緑シールを貼って誤扱いを防止した他、車両検査終了時にダブルチェックを徹底させる指導を行いました。

7 利用促進に向けた取組みについて

(1) スマホ乗車券アプリ「QUICK RIDE」の導入について

11月1日より、レシップ株式会社が運営している、スマホ乗車券アプリ「QUICK RIDE」を導入し、「智頭線普通列車1日乗車券」「普通回数券」「定期券」の取扱いを開始しました。事前にキャッシュレスで購入できるため、チケット購入のために販売窓口に赴く必要がなく、使い方は、乗車前・降車時にスマホの画面を乗務員に見せるだけです。

購入から利用までを非接触で完結でき、利用者の利便性向上に貢献します。



(2) 智頭急行開業30周年記念「スーパーはくと号 由良駅(コナン駅)特別乗車プラン」の発売

智頭急行の開業30周年を記念し、tabiwaトラベル限定でスーパーはくと号の由良駅までの特別乗車プランを発売しました。コースは、漫画ファンにうれしい『『まんが王国とっとり』満喫コース』と鉄道ファンにうれしい「後藤総合車両所 鳥取支所見学コース」の2パターンをご用意し、いずれも12月1日に催行されました。

【会社が対処すべき課題】

(1) 安全な鉄道

- ① 「狭義のヒューマンエラー」と「不安全行動」の理解
- ② エラー分析
- ③ 異常時の対応力向上

(2) 愛される鉄道

- ① お客様のために動く
- ② 地域とともに動く
- ③ 社員が自ら動く

(3) 健全な会社経営

- ① コスト意識を高める
- ② 稼ぐ力の強化

【営業成績及び財産状況の推移】

区 分	第36期	第37期	第38期	第39期
営 業 収 益 (千 円)	1,799,870	2,204,269	2,470,843	2,744,869
当期純損益(千円)	△96,154	△8,490	163,019	263,580
1株当り当期純損益(円)	△10,684	△943	18,113	29,287
資 産 合 計 (千 円)	5,571,603	5,690,494	5,821,893	6,092,986
営 業 係 数	123.4	106.3	96.7	91.0

Ⅱ．会社の概況（2025 年 3 月 31 日現在）

1 主な事業内容

鉄道事業法による旅客の運送業及びこれに附帯又は関連する事業

2 主な事業所

本社 鳥取県八頭郡智頭町智頭
運輸部 鳥取県八頭郡智頭町智頭
大原事業所 岡山県美作市古町

3 株式の状況

期末の株式の状況は、次のとおりであります。

- ① 会社が発行する株式の総数 20,000株
- ② 発行済株式の総数（額面普通株式） 9,000株
- ③ 1株の金額 50,000円
- ④ 株主総数 45名
- ⑤ 株主 別掲のとおり

なお、当社の大株主への出資はありません。

4 社員の状況

	社員数 (人)	前期末比増減 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続年数 (年月)
総務部	9	1	43.4	20年 1ヶ月
運輸部	71	4	41.4	16年 2ヶ月
合計	80	5	41.7	16年 10ヶ月

※常勤役員(2人)、契約社員(7人)を除く

貸 借 対 照 表

2 0 2 5 年 3 月 3 1 日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部	6,092,985,742	負債の部	313,543,368
流動資産	4,343,870,808	流動負債	313,543,368
現金・預金	1,789,591,001	未払金	222,725,101
未収運賃	424,947,177	未払費用	8,490,585
未収入金	105,204,248	未払法人税等	35,204,100
未収収益	797,505	預り金	1,993,020
有価証券	1,566,421,719	前受運賃	2,636,842
貯蔵品	435,121,384	前受収益	18,306,170
前払費用	21,787,774	仮受金	2,750
		未払消費税等	24,184,800
固定資産	1,723,785,812		
鉄道事業固定資産	1,721,220,312		
有形固定資産	1,692,957,479		
無形固定資産	28,262,833	純資産の部	5,779,442,374
投資等	2,565,500	資本金	450,000,000
出資金	500,000	利益剰余金	5,329,442,374
差入保証金	1,900,000	利益準備金	2,700,000
預け金	165,500	その他の利益剰余金	5,326,742,374
		別途積立金	2,390,000,000
		固定資産圧縮積立金	2,670,000,000
繰延資産	25,329,122	繰越利益剰余金	266,742,374
開発費	25,329,122		
資 産 合 計	6,092,985,742	負債・純資産合計	6,092,985,742

損 益 計 算 書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位：円)

科 目		金 額	
経 常 損 益 の 部	鉄道事業営業利益		
	営業損益の部		
	営業収益		
	旅客運輸収入	1,359,133,667	
	運輸雑収	1,385,735,460	2,744,869,127
	営業費		
	運送費	1,989,882,531	
	案内宣伝費	9,596,965	
	厚生福利施設費	2,306,126	
	一般管理費	160,909,926	
	諸税	55,496,033	
	減価償却費	280,493,132	2,498,684,713
	鉄道事業営業損益		246,184,414
	営業外損益の部		
	営業外収益		
	受取利息	9,018,415	
	受取配当金	10,000	
	雑収入	12,243,654	21,272,069
	営業外費用		
	繰延資産償却	4,305,103	
	雑支出	8,051,815	12,356,918
	経常損益		255,099,565
特 別 損 益 の 部	特別利益		
	固定資産売却益	45,455	
	補助金	109,790,071	
	前期損益修正益	17,218,543	127,054,069
	特別損失		
	固定資産除去損	7,458,328	
	固定資産圧縮損	66,891,025	74,349,353
税引前当期純損益			307,804,281
法人税等			44,223,800
当期純損益			263,580,481

株主資本等変動計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位：円)

	株主資本										新株予約権	評価・ 換算差額等	純資産合計
	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計				
	資本金	その他 資本剰余金		利益準備金	その他利益剰余金								
		資本準備金	資本剰余金		別途積立金	固定資産 圧縮積立金	繰越 利益剰余金						
前期末残高	450,000,000	0	0	2,700,000	2,360,000,000	2,540,000,000	163,161,893	0	5,515,861,893	0	5,515,861,893		
当期変動額													
剰余金の配当									0			0	
剰余金の配当に伴う 利益準備金の積立て									0			0	
積立金の積立					30,000,000	130,000,000	△ 160,000,000		0			0	
役員賞与の支給									0			0	
過年度税効果調整額									0			0	
当期純損益							263,580,481		263,580,481			263,580,481	
当期変動額合計	0	0	0	0	30,000,000	130,000,000	103,580,481	0	263,580,481	0	0	263,580,481	
当期末残高	450,000,000	0	0	2,700,000	2,390,000,000	2,670,000,000	266,742,374	0	5,779,442,374	0	0	5,779,442,374	